岐宿小学校の英語教育について

五島市は離島であることから，外国の文化や言語にふれる機会があまりありません。しかし，世界は急速にグローバル化が進んでいます。そこで，五島市では，グローバル社会で通用する力を身につけるために，平成 28 年度から教育課程特例校として，また，平成 29 年度から統合と同時に変更を申請し，１年生からの早期英語教育に取り組んでいます。本校では，１，２年生から，基本的な単語や表現を使って，楽しみながら英語に慣れ親しんでいます。

岐宿小学校の子供たちは，英語の時間が大好きで，笑顔いっぱい，ALT と一緒に，英語の時間を楽しんでいます。

岐宿小学校の英語教育の流れ

小学１・２年生
- 外国語活動
- ２０時間

小学３・４年生
- 外国語活動
- Let's Try!
- ３５時間

小学５・６年生
- 英語科
- New Horizon
- ７０時間

中学生
- 英語科
- New Horizon
- １４０時間

英語教育の成果と課題

【成果】

・１年生から英語に慣れ親しんでおり，授業の開始・終了の際は，大きな声で笑顔であいさつすることができる。

・毎週木曜日をイングリッシュ・デーに設定したところ，自分から進んで英語であいさつをしたり，簡単な英語で ALT を教室に誘ったりする児童が増えてきた。

【課題】

・学習する内容が増え，英語の聞き取りや質問に対する返答へ不安をもち，活動を楽しめない児童が少数いる。

・学校評価：保護者アンケートでは，４段階評価で，平均 2.9 であり，日常的な活用は今後の課題である。学校での授業以外では，イングリッシュ・デーの取組を要として，場の設定を工夫していく。

〈地域の方の声〉
・昔と違って、小学校で外国語（英語）を学んでいると聞きます。どんな様子か見てみたいと思います。